

(参考情報)

こころとからだに、
おいしいものを。



ダイドードリンク株式会社

2024年12月18日

報道関係各位

脱炭素社会への貢献に向けた事業運営に向けて CJPT*が企画する燃料電池 (FC)トラックを導入



※ Commercial Japan Partnership Technologies 株式会社のこと

輸送業が抱える課題の解決やカーボンニュートラル社会の実現への貢献をめざして、

2021年4月に立ち上げられた会社。トヨタ自動車、いすゞ自動車、日野自動車、スズキが参画している

ダイドードリンク株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：中島 孝徳 以下、当社）は、2024年12月17日（火）に、当社連結子会社のダイドービバレッジサービス株式会社福岡東営業所においてCJPTが企画する燃料電池（FC）トラックを導入しましたことをお知らせいたします。

当社は、自販機を中心としたビジネスを展開しており、企画開発からリサイクルまでの各段階で、自販機メーカーや製缶メーカー、リサイクル事業者と協同で、省エネや3R（リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化））の取り組みを積極的に推進しております。

また、自販機の補充や環境整備などのオペレーションを担うルート担当者のトラック（ボトルカー）のハイブリッドカーの導入を進めるなど、環境負荷低減をめざした事業運営をしています。

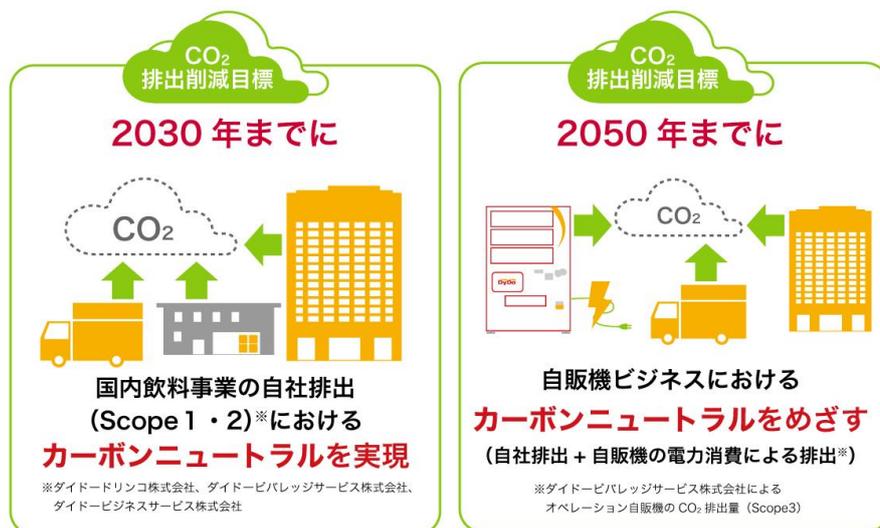
この度、走行中のCO₂排出ゼロを実現する燃料電池（FC）トラックを初めて導入し、今後、自販機のオペレーション業務などに活用することで、脱炭素社会への実現と事業成長の両面に貢献することをめざしてまいります。

【納車式の様子 12/17（火） ダイドービバレッジサービス株式会社 福岡東営業所】



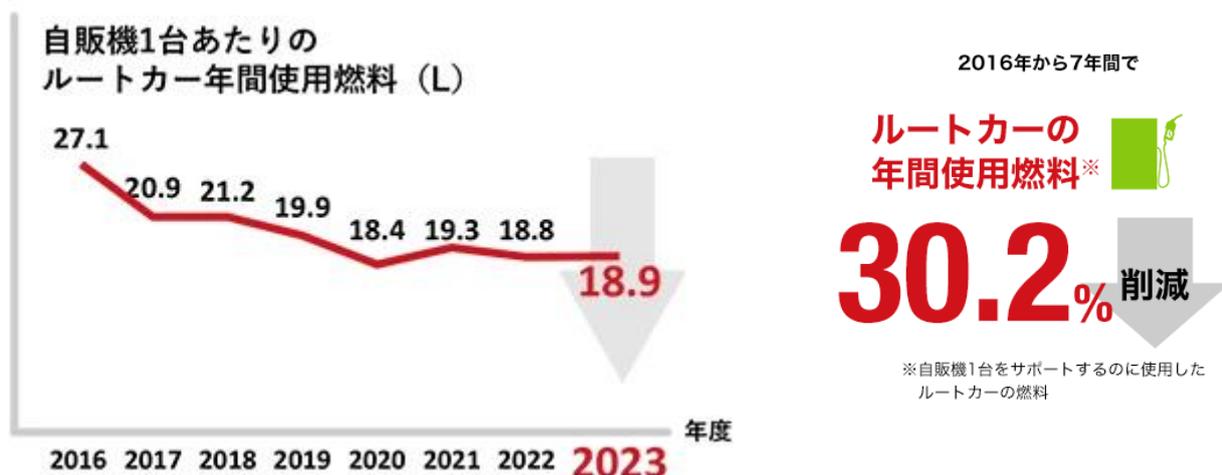
【脱炭素社会への貢献に向けた CO₂ 排出削減目標】

2030 年のありたい姿を示す「グループミッション 2030」の実現に向けた重要課題（マテリアリティ）を特定したことに合わせて、脱炭素社会への貢献に向けたダイドードリンコの「CO₂ 排出削減目標」を以下の通り定めております。



【車輛における取り組み】

自販機の IoT 化により、労働力が不足する環境においても、業界有数の自販機網を維持すべく、スマート・オペレーション体制の構築に努めています。これは同時に自販機のオペレーションのルートの最適化により、オペレーションにおける二酸化炭素の排出量削減を実現します。



DyDo グループは、「こころとからだに、おいしいものを。」をブランドメッセージに、高い品質にいつもサプライズを添えて、「オンリーDyDo」のおいしさとお健康をお客様にお届けします。

本報道資料に関するお問い合わせ先

ダイドードリンコ株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒530-0005 大阪市北区中之島 2-2-7 中之島セントラルタワー18F
TEL : 06-6222-2621 E-mail : dydo-press@dydo.co.jp